

手話サークルに参加して

私は、これまで手話に接することがほとんどなかったのですが、手話サークルで手話や指文字をやってみて、色々な表現があることを知り、とても勉強になりました。特にオリンピックの競技を手話で表すのが面白かったです。

今回初めて手話に触れてみて、手話についてもっと学んでみたいと思い、また機会があればぜひ参加したいと思いました。2日間本当にありがとうございました。

香川県立保健医療大学看護学科2年 志村 朋恵

今まで動画サイトなどで手話を学んだことはありましたが、今回のようにサークルに参加するのは初めてでした。初心者なのでついていけるのかとても心配でしたが、参加されている皆さんがとても優しくだったので楽しい時間になりました。とても貴重な経験ができて本当に良かったです。これからは指文字をマスターして、いざと言う時に使えるように練習しておきたいと思います。

香川県立保健医療大学 西畑 結真

今回、初めて手話サークルに参加させていただき一つ一つ基礎から丁寧に教えてくださったおかげで、手話を通して相手に伝える難しさや楽しさを学ぶことができました。色々な年代の方が楽しく手話されている姿を見て、このようないろんな方と関われる場所に参加できて良かったです！この機会を通して、もっと手話を学びたいと感じました！

香川県立保健医療大学地域健康サポーター実習 野村 百花

私は今回初めて手話サークルに参加させていただきました。普段、今回のように様々な年代の方たちと一緒に学ぶことはないのですが、穏やかな雰囲気の中で、楽しく手話を学ぶことができました。自己紹介や家族の紹介などを手話で行いましたが、私は特にしりとりをしたことが楽しかったです。はじめに指文字で言葉をみんなに伝えたあと、それを身振りではどう表現したらいいのかが少し難しいと感じるものもありましたが、相手に伝えたいという想いが大切なのだと感じました。今回の手話サークルを通して相手に伝えること・伝わることの楽しさを実感しました。また機会があればぜひ参加して、手話について学びたいです。

香川県立保健医療大学看護学科2年 藤村 彩夢



ふうせんバレーサークルに参加して

ボランティアとして初めて参加させていただきました。初めは思うように風船が飛ばずコミュニケーションの取り方も悩みましたが、試合をすすめるにつれて声が出るようになり、私も夢中でプレーに参加できました。また、久しぶりに大勢の方と一緒にスポーツをすることができとても楽しかったです。機会があればまた参加したいです。

香川県立保健医療大学 運天 楓菜



コロナ禍の中で

早いものでコロナ禍になり2年余りが過ぎようとしています。一瞬にして、当り前の生活が当たり前でなくなりました。私は障害者支援施設に入所しています。団体生活のため、特に生活面が大きく変わりました。以前は普通に出来ていた、外出や外食などが規制され不自由を感じていましたが、長いコロナ禍の生活でマスクの着用、手洗い、検温など少し慣れたように思います。

まだまだ、このマスク生活も続くと思いますが一日も早く、以前のような生活に戻れる日が来る事を信じ日々を過ごしています。クラブ会員、ボランティア、理事の皆様にはご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。

代表 中田 賢二

編集後記

2021年も終わろうとしています。この記事を書いている現在(11月下旬)は、日本のコロナの感染状況はとても落ち着いており、様々な制限が感染対策をとったうえで解除されていっています。ただし、ワクチン接種が進んでいる国でも、感染が再拡大しており、油断はできない状況です。今の落ち着いた状態が続くことを願っています。

今年、個人的にうれしかったことは東京オリンピック・パラリンピックが開催されて、たくさんのパラ競技をテレビで見られたことでした。反響も大きく、パラスポーツを知っているこどもはとも増えました。この自国開催のレガシー(遺産)が、さらスポーツの活動にもつながっていくといいなと思っています。

来年はどのような1年になるのでしょうか。新年もよろしくお願いいたします。

光吉

さらスポーツクラブが目指しているもの

全ての人(子どもから高齢者に至るまで、障がいの有無に関わらず)が能力に関わらず生涯に渡り、気軽にスポーツ文化活動に携われる環境の場を提供すること、また世代や障がいの枠を越えた交流を通じて相互理解を深めることにより、つながりを持ちお互いの可能性を広げることを目的としています。

ご意見・ご感想： ☎087-813-5016 E-mail sara.takamatu@nifty.com

発行責任者：高岡憲美・光吉直哉・中田賢二

